

日時：2024年6月1日（土）15:00～17:30

オンライン会議

日本パーソナリティ心理学会第157回常任理事会議事録

出席：尾見康博理事長，松田英子副理事長，小塩真司，森 津太子，田中麻未，
外山美樹，武田美亜，川本哲也，中村 真

報告事項

I 理事長挨拶

II 各種委員会報告

1 機関誌編集委員会（小塩委員長）

(1) 機関誌掲載情報

第33巻1号 2024年7月発行予定（2024年4月末までに採択された論文）

原著5本，ショート6本（うち事前登録研究1篇）

原著	Specific Phobia of Vomiting Inventory日本語版の因子構造，信頼性，妥当性の検討	米田 健一郎
原著	鮮明性測定尺度の視覚項目回答時に生じるイメージ体験の分類	福井 晴那
ショート	インターネット版プライバシー次元尺度改訂版の作成	佐藤 広英
ショート	向社会的な嘘が抑うつを高める過程における先行要因—非緩和共同性に着目した検討—	田口 恵也
原著	特定少年実名報道と原因帰属の相互メカニズム——個人化論の観点から——	向井 智哉
ショート	中学生における関係性攻撃と学校適応感の関連：学級内地位の調整効果に注目して	唐 音啓
事前登録研究（ショートレポート）	事前登録研究：同時呈示式係留ビネット法の提案——ビネット中の人物への不適當評定を減らす試み——	清水 友貴
原著	小学校高学年児童および中学生版自己注目尺度の作成	原田 宗忠
ショート	大学生のライフイベントと精神的健康における感覚処理感受性の調整効果の検討	嶺 哲也
原著	Dark Tetradと孤独感の関連—排除経験を媒介変数として—	富井 薊
ショート	日本語版教師用子どものネガティブ感情への対応尺度（CCNES-T）作成の試み	溝川 藍

第33巻2号 2024年11月発行予定（2024年8月末までに採択された論文）

ショート	メンタライジングによる抑うつ・不安の低減効果——アイデンティティを媒介変数としたモデル検討——	柴田 康順
ショート	中学生の過剰適応と自律性の欲求充足及び欲求不満の関連	風間 惇希
原著	刑事司法に対する態度と経済的不安の関連	向井 智哉

(2) 投稿規定ワーキンググループ（2024年5月1日に第1回WGを開催）

メンバー：永井智，岡田涼，古村健太郎，下司忠太，中井大介（編集委員会副委員長）

投稿規定を日心の手引きに合わせて改変していくことを検討中で，年末を目処に一定の方向性を定める方針である旨の報告があった。

(3) 編集状況

以下の表に記載の通り，順調に投稿されているとの報告があった。

年月	採択	審査中	修正中	不採択	取り下げ	投稿時不採択	投稿数
2023							
1	0			0	0	0	5
2	2			2	0	0	5
3	7			1	0	0	5
4	2			1	0	0	8
5	4			3	0	0	2
6	1			0	1	0	7
7	3			2	1	0	3
8	2			3	0	0	4
9	4			1	0	0	5
10	1			1	0	0	11
11	1			0	0	0	8
12	5			3	0	0	1
計	32	0	0	17	2	0	64
年月	採択	審査中	修正中	不採択	取り下げ	投稿時不採択	投稿数
2024							
1	2			0	0	0	7
2	5			2	1	0	3
3	1			3	0	0	8
4	2			4	0	0	8
5	3			3	0	0	5

2 経常的研究交流委員会（森委員長）

(1) 第33回大会の企画について

以下の通り、報告があった。

①企画シンポジウム 『ソーシャルメディア時代 – パーソナリティ研究から何が言えるか –』

<話題提供>

太幡直也先生（愛知学院大学）、鈴木千晴先生（立命館大学）、黒川雅幸先生（愛知教育大学）

<指定討論>

中山満子先生（奈良女子大学）

②MPP企画 『これくらいでいいんじゃない？ – 心理学の授業の進め方 –』

③招待講演 ※本年度は見送り

(2) 委員構成について

以下の通り、報告があった。

	～2024年度末	～2025年度末	～2026年度末
委員長	森 津太子 (放送大学)		
副委員長	中井 和弥 (神戸松蔭女子学院大学)	—	—
委員	山下 倫実 (十文字学園女子大学)	閻 琳 (美作大学)	解良 優基 (南山大学)
	唐 音啓 (共愛学園前橋国際大学)	西川 一二 (大阪商業大学)	白倉 瞳 (東北学院大学)
	—	吉野 伸哉 (公益財団法人 医療科学研究所)	向井 智哉 (福山大学)

3 広報委員会（川本委員長）

(1) 定例の活動（2024/3/17 から 2024/5/30 まで）

ウェブサイトの更新（2回）、メールニュースの配信（16回）、ML 上での業務調整などの活動内容が報告された。

(2) ヤングサイコロジストプログラム（YPP）2024

YPP2024 のプログラムが確定した旨、以下の通り、報告があった。

- ・ 開催日時：2024 年 10 月 4 日（金）
- ・ 会場：筑波大学 人間系学系棟 B523, 524
- ・ 企画名：「研究仲間を見つけようー将来につながるネットワーキングー」
- ・ 企画趣旨：若手研究者の多様な実情共有と関心キーワード紹介をすることを通じ、若手研究者間で今後の研究に資するようなネットワークを構築できるようにする。
- ・ 主催：日本パーソナリティ心理学会広報委員会
- ・ YPP 担当広報委員：田口恵也（大阪大学大学院）、磯和壮太郎（名古屋芸術大学）、山本琢俣（早稲田大学）
- ・ 企画担当：上田皐介（名古屋大学・企画担当代表）、真鍋一生（名古屋大学）、杉山陽香（中京大学）、中荒江大河（追手門学院大学）

(3) 今後の活動予定（継続を含む）

ウェブサイトの更新、メールニュースの配信（随時）、委員分担コンテンツの更新を行っていくことが報告された。

4 褒賞関連事項（外山褒賞担当常任理事）

(1) 学会賞選考について

理事からの推薦に基づき、現在、学会賞選考委員による 1 次選考を行っている旨の報告があった。

(2) 第 33 回大会の優秀大会発表賞について

例年通り、抄録原稿を対象とした第 1 次審査と、当日の発表を対象とした第 2 次審査による 2 段階審査で優秀大会発表賞を決定する予定である旨の報告があった。

III 第 33 回大会準備状況について（外山準備委員長）

協賛金等の申込があった企業・団体について報告があった。また、つくば観光コンベンション協会から助成（25 万円を予定）を受けることが決定した旨の報告があった。

一般研究発表申込、自主シンポジウム申込、論文集原稿提出の締切を 6 月 7 日まで延長することになったとの報告があった。

5 月 30 日 17:00 時点の申込状況について以下の通り、報告があった。

- ・ 参加申込者 178 名
一般 124 名（会員 115 名，臨時会員 9 名）

院生 52 名（会員 46 名，臨時会員 6 名）

学生 2 名（会員 2 名）

- ・一般研究発表 86 件（ポスター発表 82 件，口頭発表 4 件）
- ・自主シンポジウム 1 件

大会開催中に行う理事会および総会の日時等について確認を行った。

IV 日本臨床心理士資格認定協会からのお知らせ（田中事務局長）

田中事務局長より資料に基づき報告があった。オンライン研修に関する運用の依頼につき，現状，本学会には該当しない旨を確認し合った。

V その他

- ・田中事務局長より，資料に基づき，6月5日 19:00～22:00 の時間帯は，JPASS メール一斉配信機能が停止される旨の報告があった（メンテナンスのため）。

審議事項

I 名誉会員の推挙について

理事長を 2 期務めるなど，本学会の運営と発展に大きく貢献した浮谷秀一先生を名誉会員に推薦することについて尾見理事長より説明があり，審議の結果，常任理事会として承認した。第 33 回大会時に行われる理事会および総会の審議を経て正式に決定することを確認した。

II 名誉会員の一覧表の作成および学会ウェブサイトでの掲載について

学会ウェブサイトにも名誉会員の一覧表を掲載する方向で検討することを申し合わせた。また，名誉会員証に記載する年号を西暦表記に統一することを申し合わせた。

III 日本学術振興会「育志賞」の受賞候補者の選考について（追認の議案）

審議の結果，上田皐介氏（名古屋大学大学院博士課程 3 年）を本学会より推薦することを追認した（メール審議にて 2024 年 5 月 7 日に承認済み）。

来年度以降の「育志賞」の受賞候補者の推薦方法について，継続検討することを申し合わせた。

IV 財務関連事項（武田財務担当常任理事）

武田財務担当常任理事より，資料に基づき，JPASS 担当者から監査について，これまでの会計監査だけではなく，事業報告の監査も兼ねて実施してはどうかとの検討依頼があった旨の報告があった。審議の結果，今回（昨年度分の監査）については，監査の時期が間近に迫っているので，これまでと同様に会計監査のみを行うこととし，次回以降については継続検討することを申し合わせた。

V 心理学検定の広報依頼について

尾見理事長ならびに田中事務局長より、日心連から心理学検定の周知および機関誌への広告掲載の依頼があった旨の報告があり、審議の結果、協力することを申し合わせた。

VI 会員の入退会に関する件

田中事務局長より、別紙資料に基づき、入会希望者 60 名 (ML 審議にて承認済み)、退会者 42 名が示され、審議の結果、承認された。併せて、宛先不明者について報告があった。

以上の承認を受けて、2024 年 5 月 27 日現在、会員総数は 903 名である。内訳は、一般会員 832 名、院生会員 55 名、学生会員 2 名、名誉会員 10 名、賛助会員 4 名である。

VII 次回以降の常任理事会日程について

次回：2024 年 7 月 15 日（月）17:00 よりオンライン開催

次々回：2024 年 8 月 26 日（月）14:00 より対面開催（早稲田大学での開催を予定）

以上